日本キリスト教団 東金教会〔４９〕

2019年12月15日 降誕前第２主日礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	森川里
奏楽	中内
受付	鈴木内
案内	寺田内
名札係	藤田
礼拝感謝祈祷	五木田
〃 〃	安延
前奏	中里
讃美歌３９	一同
使徒信条５６６	〃
交読文３９	司・会衆
主の祈り５６４	一同
聖書朗読	森川
マタイによる福音書１１:２～１１	
祈祷	森川
新聖歌２４２	一同
み言葉の伝え	梅田
〈洗礼者ヨハネから主イエスへ〉	
讃美歌１２０	一同
献金	
礼拝感謝	五木田
〃 〃	安延
報告	森川
頌栄５４１	一同
祝祷(派遣)	梅田
後奏 新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 （休会）
早天祈祷会 月～金7時(除祭日)メーヤー館
山田台集会 １２月１７日(火)17：30～
聖歌練習 本日礼拝後
聖書輪読会 12月22日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 12月22日(日)10:25-10:30

【報告】

☆今週は第三アドベントです。第一、第二の希望、平和に続き第三アドベントは「喜び」を表現します。神を信じて生きる喜びを味わう信仰者になりたいものです。

☆大谷 姉のお母さま大谷 姉が去る13日(金)帰天されました。 姉は11月14日病床受洗を受けられました。明16日11:00教会にて近親者によりご葬儀です。 姉の上に主のお慰めを祈ります

☆１２月１３日(金)ときがね幼稚園・保育園のクリスマス祝会が東金文化会館で無事持たれました。ご加祷感謝です。

☆本日の礼拝は梅田 先生に守って戴きました。次週のクリスマスメッセージは朴牧師の担当です。礼拝後は例年のごとく祝会です。プレゼント交換お忘れなき様願います。尚、２４日の燭火礼拝、２９日の歳末礼拝は中村牧師の担当です。

☆12月21日教会学校クリスマス祝会が予定されております。ご加祷下さい。

☆幼稚園は18日がクリスマス礼拝、20日が第二学期終了日です。

☆牧師冬期休暇により１２/１８、１２/２５ ２０２０年 1/1、1/8の祈祷会は休会とさせて戴きます。

☆12月31日(火)午後11時45分より除夜祈祷会が待たれます。皆さまご出席下さい。

☆１２月３０日～２０２０年１月３日の幼・保園は休園となります。

☆クリスマスカード…掲示板

【臨時総会公告】

議題…朴牧師辞任の件
日時…2020.1.12礼拝後 場所…礼拝堂

【12月15日～12月21日誕生者】

○小林 姉 ○安延 姉 ○小林 姉
※互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて行きましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(12/8	14	31	45
聖研祈祷会(12/11)	1	3	6
聖書輪読会(12/8)	1	3	4
教会学校(12/8)	3	13	16

早天祈祷会 日	男	女	計
12/9	1	1	2
12/10	2	1	3
12/11	1	1	2
12/12	1	2	2
12/13	1	1	2

主日礼拝献金(１２/8)……５８,２００円
教会学校献金(１２/８)……6,２２０円

【今日のメッセージ】

題 ［戦礼者ヨハネから主イエスへ］
聖書 マタイ福音書１０:2～１１
1・疑惑と応答

2・喜ばしき応答としての福音

3・主イエスに伴うつまずき

【次週(12月22日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈〉
聖書 ルカ福音書11:2～11他
交読文２４
讃美歌 99 102 97 115 １１４
聖歌隊 ハレルヤ クリスマス

【次週(12月22日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…	朴
司式者…	井上里
奏楽者…	中井枝
受付者…	今延
案内者…	三川寺
名札当番…	安谷
礼拝感謝祈祷…	森田
〃 〃…	薬師
csお話し…	阿波
会堂清掃者…	武
〃 〃…	
花係…	小林
看板書き…	藤田

【聖書から】

「ところで、兄弟たち、あなたがたはイサクの場合のように約束の子です。けれどもあの時、肉によって生まれた者が「霊によって生まれた者を迫害したように、今も同じようなことが行われています。

ガラテヤ書四章二九節

パウロは聖書を引用することにより、神の約束に信を置くことが律法の行いによる義を勝ち取ることに勝ると主張しようとする。そしてそこで引用された聖書箇所は創世記である。聖書において最も価値ありとされるのが、いわゆるモーセ五書(創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記)であるが、その中でも最高の価値ありとされる創世記を引用し神の約束に信を置くことが律法の行いを行うより優位にあると主張する。具体的には約束の子イサクこそ正統的な神の約束の継承者であり、正式の妻たるサラの使え女にすぎないハガルの息子は約束の子に与えられる継承権を持たないとする。このように神の約束によって与えられた継承権は律法の行いによって覆されることはない。即ち律法の行為者には神の子とされる継承権はない。けれども、この継承権なき律法行為者が優位に立ち、約束の子を迫害するようなことが事実として起こる。約束の子イサクが約束から外されたイシマエルによって迫害され、追い詰められ、隅に押しやられるようなことがあるのだとパウロは云う。そしてこの逆転と見える現象は「今も同じようなことが行われています」と語られるように、何時の時代にも見られる現象である。それは今日における信仰者の在り方にも如実に映し出されている。即ち、行為によって約束を凌駕しようとする現象である。神の約束が信じられないので神の導きに信をおくことができない。それで約束に留まるより己の力に頼り、己の判断に頼り、まるで己が神の代行者の様に振る舞う。要するに神の解決力に信を置けない。そんな冒険は怖くて到底できないというのが今の信仰者と称する我らの実体ではないか。聖書の信仰の中心への信頼を避け、神との信頼の綱がボロのようになっている我らは反省しなければならない。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。